

実質的支配者に関する申告について

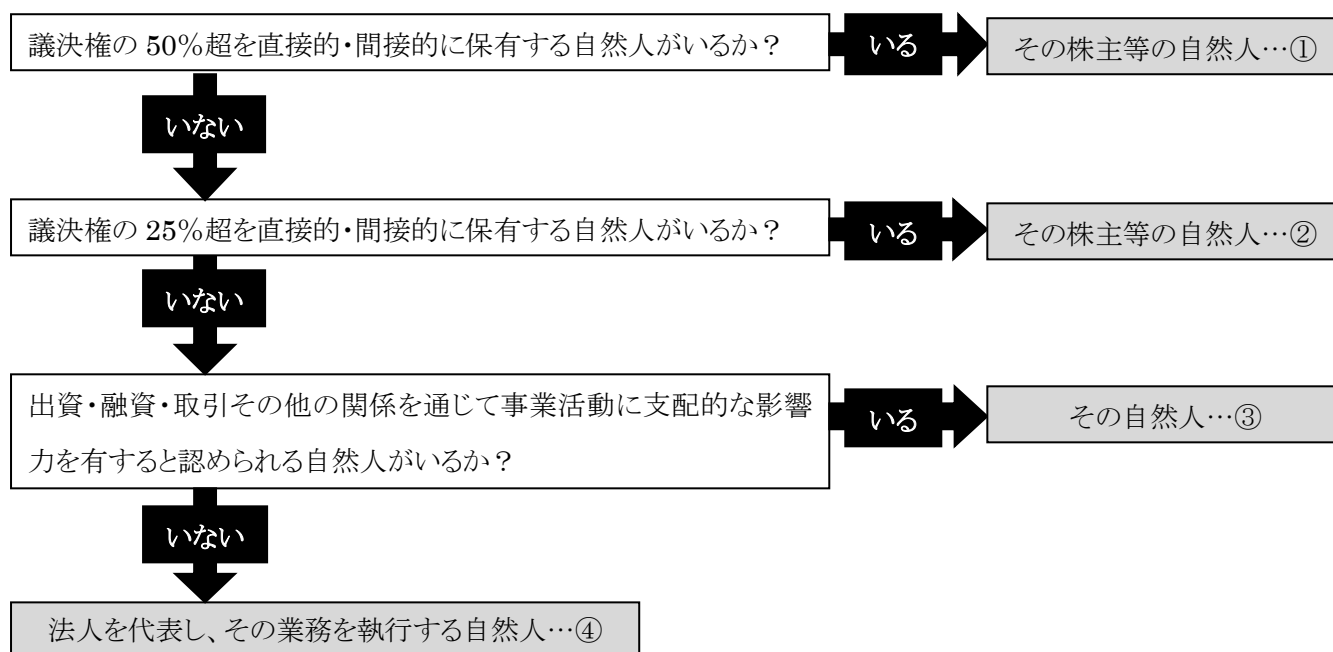
2013年4月1日付で犯罪による収益の移転防止に関する法律が改正されたことにより、法人のお客様の場合には、実質的支配者について確認をさせていただくことになりました。つきましては、「実質的支配者に関する申告書」に必要事項をご記入の上、ご郵送ください。

※実質的支配者とは、口座開設申込みの法人様の事業経営を実質的に支配することが可能となる関係にある方のことです。

※資本多数決法人には、株式会社、有限会社、投資法人、特定目的会社等があります。

以下の①～④の順に実質的支配者が判定されます。

- ①議決権の50%超を直接的・間接的に保有する自然人がいる場合 → その株主等の自然人
- ②上記①がない場合、議決権の25%超を直接的・間接的に保有する自然人がいる場合 → その株主等の自然人
- ③上記①②がない場合、出資・融資・取引その他の関係を通じて事業活動に支配的な影響力を有すると認められる自然人がいる場合 → その自然人
- ④上記①～③がない場合 → 法人を代表し、その業務を執行する自然人



租税条約等の実施に伴う所得税法等が改正となり、2017年1月1日以降、新たに口座開設を行う場合、[共通報告基準 \(CRS : Common Reporting Standard\)](#) に基づき、税務上の居住地国の特定および特定取引の届出が必要となりました。

※税務上の居住地国とは、税務上の居住者として、所得税・法人税に相当する税を納めるべき国を指します。

以下、具体例です。

- ・日本在住の日本国籍で、日本国のみにも納税義務がある → 居住地国は「日本国のみ」
- ・日本在住の米国籍で、日本国にも米国にも納税義務がある → 居住地国は「日本国」と「米国」
- ・米国在住の日本国籍で、米国のみにも納税義務がある → 居住地国は「米国」
- ・米国在住の日本国籍で、日本国にも米国にも納税義務がある → 居住地国は「日本国」と「米国」

ご記入いただく「実質的支配者に関する申告書」は[こちら](#)からプリントアウトしてください。

①【口座開

法人	
所在	

**※実質的支配者に該当される方は、
1名以上となります。
必ず、ご記入いただき、ご郵送ください。**

②【実質的

フリガナ	
氏名	それぞれの項目の <input type="checkbox"/> のいずれか1つに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。(複数不可)
住所	
生年月日	西暦 年 月 日
貴社との関係	①②③のいずれかに該当する場合には、④へのチェックは不要です。 ①又は②に該当する場合は、議決権の割合もご記入ください。 <input type="checkbox"/> ①議決権の50%超を直接的・間接的に保有する自然人。(議決権の割合: %) <input type="checkbox"/> ②議決権の25%超を直接的・間接的に保有する自然人。(議決権の割合: %) <input type="checkbox"/> ③出資・融資・取引その他の関係を通じて事業活動に支配的な影響力を有すると認められる自然人。 <input type="checkbox"/> ④法人を代表し、その業務を執行する自然人。
居住地区	<input type="checkbox"/> 「日本のみ」 <input type="checkbox"/> 「日本のみではない」または「居住地区を有さない」

①または②に
を入れられた場合、
こちらもご記入ください。

以下は、居住地区が「日本のみではない」または「居住地区を有さない」に該当する場合、ご記入ください。

居住地区の名称	外国納税者番号
---------	---------

**※「日本のみではない」または「居住地区を有さない」に
を入れられた場合、こちらも必ず、ご記入ください。**

- すべての居住地区および外国納税者番号をご記入ください。
 - 居住地区を有さない場合は「なし」とご記入ください。
 - 居住地区が日本の場合、「外国納税者番号」欄に個人番号(マイナンバー)を記載せず、「-」とご記入ください。
 - 外国納税者番号を提供できない場合には、その理由を以下から選択し、「外国納税者番号」欄にご記入ください。
 - ①居住地区は納税者番号を発行していない。
 - ②居住地区は納税者番号を発行しているが保有していない。
 - ③納税者番号を発行した国または地域の法令により金融機関に提供することができない。
- 住所の所在する国または地域と居住地区が異なる場合や居住地区を有さない場合、その理由を選んでください。
学生 教育機関における教師、 트레이ニー、 インターン 交流プログラムによる訪問者 外交官
その他(理由等:)

英語表記で氏名および住所をご記入ください。

氏名	(姓)	(名)	(ミドルネーム)
住所			(国名)

実質的支配者に関する申告書(資本多数決法人のお客様)

①【口座開設お申込みの法人様】

法人名	
所在地	〒 -

②【実質的支配者様】

フリガナ	
氏名	
住所	〒 -
生年月日	西暦 年 月 日
貴社との関係	<p>①②③のいずれかに該当する場合には、④へのチェックは不要です。 ①又は②に該当する場合は、議決権の割合もご記入ください。</p> <p><input type="checkbox"/> ①議決権の50%超を直接的・間接的に保有する自然人。(議決権の割合: %) <input type="checkbox"/> ②議決権の25%超を直接的・間接的に保有する自然人。(議決権の割合: %) <input type="checkbox"/> ③出資・融資・取引その他の関係を通じて事業活動に支配的な影響力を有すると認められる自然人。 <input type="checkbox"/> ④法人を代表し、その業務を執行する自然人。</p>
居住地図	<input type="checkbox"/> 「日本のみ」 <input type="checkbox"/> 「日本のみではない」または「居住地図を有さない」

以下は、居住地図が「日本のみではない」または「居住地図を有さない」に該当する場合、ご記入ください。

居住地図の名称	外国納税者番号

- ・すべての居住地図および外国納税者番号をご記入ください。
- ・居住地図を有さない場合は「なし」とご記入ください。
- ・居住地図が日本の場合、「外国納税者番号」欄に個人番号(マイナンバー)を記載せず、「-」のご記入ください。
- ・外国納税者番号を提供できない場合には、その理由を以下から選択し、「外国納税者番号」欄にご記入ください。
 - ①居住地図は納税者番号を発行していない。
 - ②居住地図は納税者番号を発行しているが保有していない。
 - ③納税者番号を発行した国または地域の法令により金融機関に提供することができない。

住所の所在する国または地域と居住地図が異なる場合や居住地図を有さない場合、その理由を選んでください。

学生 教育機関における教師、 트레이ニー、 インターン 交流プログラムによる訪問者 外交官
 その他(理由等:)

英語表記で氏名および住所をご記入ください。

氏名	(姓)	(名)	(ミドルネーム)
住所			(国名)

該当される方が複数おられる場合、お手数ですが、本用紙をコピーしてご利用ください。